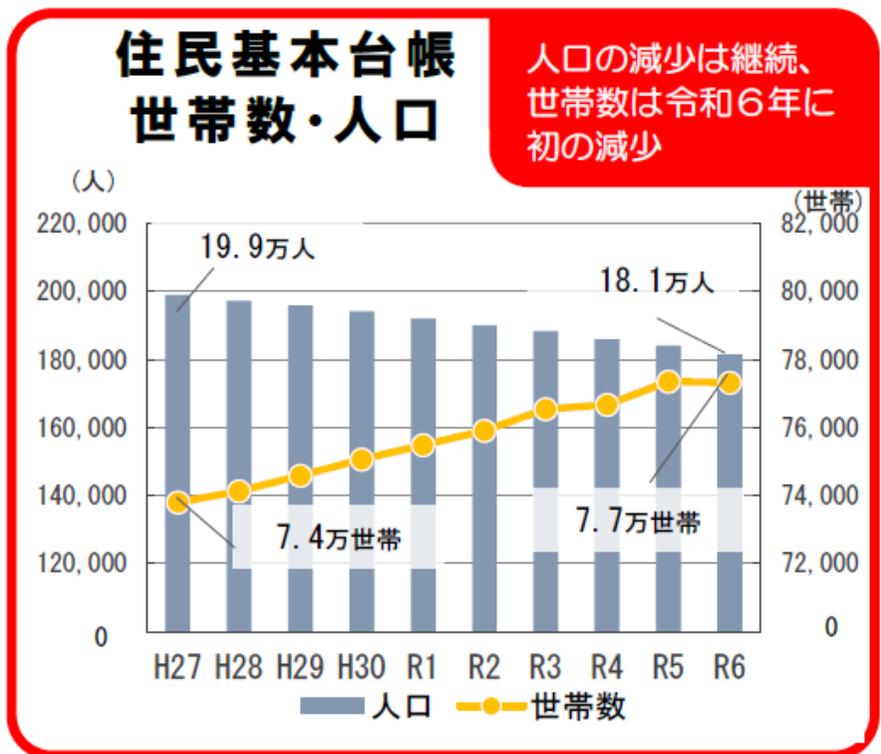


人口減は継続 市が統計要覧を公表

上越市はこのほど、市の姿を数値で表した“統計要覧”を公表しました。

それによると、あいかわらず人口の減少は続いており、世帯数も減少に転じたようです。詳しくは市のホームページをご覧ください。下図は概要版からの抜粋です。



人口の減少は継続、世帯数は令和6年に初の減少

県議会 県民の思い汲まず県民投票条例否決

柏崎刈羽原発の再稼働を県民一人ひとりの意思で決めようとする県民投票条例制定の直接請求の結果行われた臨時県議会の最終日(18日)、条例の採決が行われ、自民・公明などの反対で否決されました。

この条例は、県内に原発があり、万が一の際には着の身着のままでの避難を余儀なくされたり、住居を失ったりする可能性がある住民が、そのリスクを考えて自らの意思で判断しようという、実に当たり前の制度を創設するための条例です。

賛成した議員は、県民一人ひとりの「自分で決めたい」という思いを代弁する発言を行って制定を求めました。また、反対派の根拠のない反対理由には、馬場県議が一つ一つの理由を挙げて反論し、矛盾を突きましました。

上越からは多くの市民が傍聴に駆けつけました。その一人で請求代表人の前山忠さん(三和区)は、3日間の臨時県議会を傍聴した上で、次のように述べ、反対勢力を批判しています。

「県民投票を批判し否決した自民党、公明党、真政にいがた(連合新潟推薦議員)3会派の議員が、揃いも揃って同じ論理と主張を繰り返していたのは、自分の意思と思考ではなく別の力学で動いていたと思わせるものだった。それを裏付けるように、彼ら及び花角知事の発言の中に県民の生の声や思いが全く出てこなかった。彼らは県民の再稼働に対する不安や疑問には全く関心がないか無視して、国・政府や東電、商工会など経済界の意向で動いていたのだらう。」

県議氏名	賛否	理由
馬場秀幸	賛成	住民が直接賛否を表明できる投票制度の実現は憲法95条の住民投票に沿う理念で、極めて重い。
牧田正樹	賛成	県民一人ひとりが意思表示をし、それに基づき知事が判断するやり方が良い。
土田竜吾	賛成	知事は県民の「信を問う」部分をはっきりさせてこなかった。条例の意義は十分ある。
楡井辰夫	反対	基本的には知事の判断の表明を待つべきだ。
斎京四郎	反対	原発再稼働を考えるとときに、住民投票は合わない。

4月19日新潟日報紙面より抜粋

4/20投開票 糸魚川市議会議員選挙

松田のりひこさんみごとと当選

糸魚川市議会議員選挙は20日投開票が行われ、日本共産党の松田のりひこ候補は1,341票を獲得し、みごと6位で当選しました。

松田候補は、地域医療構想で医療再編が進められようとする中、

市民の命綱である糸魚川総合病院を、救急も手術もできる体制のまま守ることを訴えたほか、学校給食費の無料化、年金だけで入ることのできる特別養護老人ホームの増設などを訴え、市民の共感を得ました。また、デマンドタクシーなど、安くて便利な公共交通の充実を訴えました。



上越市議会 ご意見を聴く会

議員と気軽にトーク

- 5/8 木 ご意見を聴く会 18:30-20:00 ユートピアくびき希望館
- 5/9 金 ご意見を聴く会 18:30-20:00 清里コミュニティプラザ
- 5/10 土 議員と気軽にトーク 10:00-11:30 直江津学びの交流館

日本共産党上越市議員団ニュース
No.869 2025年4月27日・5月4日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

「しんぶん赤旗」日曜版4月27日号と5月4日号は合併号です。来週は配達がありません。あらかじめご了承ください。